



ちゅうりっぷ組だより

〈7月号〉

令和5年7月20日 ときわ保育園 担当 岡田



ようやく晴れた日が続くようになり、いよいよ本格的な夏がやってきました。水遊びが気持ちのいい季節となり、ちゅうりっぷ組でも水に触れる機会が増えてきました。みんな、何でも初めてのことはちょっぴり不安でドキドキ... 水遊び初日は、まずは水に慣れることから始めました。

テラスにたらいを用意してお湯を入れていると、“何が始まるんだろう？”と気になり、柵の所まで様子を見に来ていたのですが、いざ移動をすると保育者に抱っこを求め、傍を離れなかった子ども達。保育者がゆっくりと水に触れ、「パシャパシャ」「ピチャピチャ」「お水、気持ちいいな〜♪」と遊び始めると、固まっていた子も段々と“大丈夫そう...”“楽しそう...”の表情に変わり、自分でもそっと水の中に手を入れては、左右に動かしてみたり、水面をポンポンとたたいてみたりと、水の感触を楽しむようになっていました。

そこからは、「あ〜♪」と声を出しながら元気に遊び、魚のおもちゃを見つけると、美味しそうに見えたのか口に運ぼうとするなど、好奇心でいっぱいでした。

これからも、水の心地よさを感じながら、楽しく安全に過ごしていきたいです。



👧👦 楽しい給食タイム♪

離乳食が進み、自分で食べたい気持ちが芽生えてきた子ども達。興味のある食材に手を伸ばしては、アムアムと上手に口を動かしながら、手づかみ食べを楽しんでいます。保育者の「おいしいね〜♪」の声掛けに合わせて、ニコニコしながら顔を傾けたり、嬉しくて“タッチ〜!!”と手を挙げたりとご機嫌です。

今後も、子ども達の意欲を大切にしながら、たくさん食べて元気に過ごして行ってほしいです。

